

平成26年三重県議会定例会

障がい者雇用促進調査特別委員会 提出資料(4)

- 1 特別支援学校における就労支援について 1

平成26年6月24日
教育委員会

特別支援学校における就労支援について

教育委員会

1 組織的・計画的なキャリア教育の推進

特別支援学校では、障がいのある児童生徒一人ひとりが、その能力や適性に応じて社会参加していけるよう、組織的・計画的なキャリア教育を推進しています。また、「特別支援学校におけるキャリア教育の手引き」を活用し、小学部から高等部までの系統的な学習を進めています。さらに高等部においては、進路希望調査や進路懇談会を実施し、一人ひとりの希望の実現に向けて取り組んでいます。

<参考>キャリア教育マトリクス（資料1）

小学部：基本的な生活習慣の確立

- 挨拶・身だしなみ
- からだづくり

中学部：職業生活および社会自立に必要な基礎的な力の育成

- 社会生活に必要なルール・言葉遣い
- 責任感、協力

高等部：職業生活および社会自立に必要な総合的な力の育成

- お金の管理
- 情報機器の利用
- 社会でのマナー

2 職業教育を重視した教育課程の改編

一般事業所での就労を希望する生徒が増加していることから、指導内容や方法をさらに充実するため、以下の取組を進めています。

- ・早期からの計画的な職場実習の実施（資料2）
- ・職業コースの設置（平成25年度：5校→平成26年度：7校）
- ・企業と連携した清掃や接客サービスの技能にかかる講習および検定の実施
- ・職業適性アセスメントの活用

3 外部人材を活用した職場開拓

企業経験豊かな外部人材を、事務局にキャリア教育マネージャー（1名）、拠点となる特別支援学校にキャリア教育サポーター（6名^{*}）として配置しています。

- ・生徒の可能性や強みを企業に提示する提案型の職場開拓の実施
- ・就労支援会議の開催（月1回）により、就労希望者全員の実習状況の把握

※キャリア教育サポーター配置校：西日野にじ学園、豊学校、杉の子特別支援学校石薬師分校

稲葉特別支援学校、伊賀つばさ学園、玉城わかば学園

4 障がい者雇用に係る関係部局、関係機関等との連携

関係部局、関係機関、企業、NPO等と必要な情報を共有し、連携して就労支援を行っていくため、以下の取組を進めています。

- ・設置が進められている「ステップアップカフェ（仮称）」における職場実習等の検討
- ・農福連携による取組として農業経営体の協力による職場実習の実施（平成25年度6名）
- ・労働局、ハローワーク、健康福祉部等関係機関との就労支援に係る連携会議の開催
- ・各特別支援学校が企画する企業向け見学会の実施

5 特別支援学校高等部および高等部専攻科卒業生の進学及び就労率

（平成25年度）

平成25年度の卒業生244名の進学及び就労率は34.8%（85名）であり、実習を実施した企業における希望者全員の就労が実現しました。

（参考資料）三重県立特別支援学校在籍者一覧及び配置図

特別支援学校版キャリア教育マトリクス

国立特別支援教育総合研究所の資料を参考に、三重県特別支援学校版キャリア教育マトリクスを作成しました。

児童生徒の実態によって、当該学部の内容が難しい場合は、下学部の内容を取り扱うことになります。

各校での取組の参考にしてください。

【共通】各特別支援学校で共通の部分

	幼稚部	小学部(低)	小学部(高)	中学部	高等部第1学年	高等部第2学年	高等部第3学年	高等部専攻科
人間関係 形成能力	かかわり 集団参加 意思表示 挨拶・清潔・身だしなみ			自己理解 協力・共同	他者理解			
(学習内容)	あいさつをする 大人と一緒に 集団活動に参加する 自分の気持ちをあらわす 日常生活に見通しを持つ		自分の考えを話す 困ったときに支援を求める	言葉遣い	気持ちよい挨拶をする 学習発表 販売活動	自ら進んで行動する 男女の理解	場に応じた話し方 TPOに合った服装・マナー 面接練習	
情報活用能力	見通し・関心 きまり 金銭 役割			社会資源の活用		法や制度		
					使い方と管理 責任・充実感・はたらくよろこび		消費生活の理解	
(学習内容)	数量概念の形成 手伝いをする 簡単なルールのある遊び		係り活動を行う 買い物学習	責任を持って活動する 集団生活や社会生活に 必要なきまりを知る 作業や実習 校外学習	公共交通機関を利用 調べ学習 実習先までの行き方	相談機関・福祉サービス よりよい作業方法を考える ボランティア活動	予算を意識した買い物 労働の対価としての 賃金の意味理解 ハローワークなどの利用 生活に必要な経費	
将来設計能力	習慣形成・健康な身体 夢や希望 やりがい							
				余暇活動 進路計画				
(学習内容)	日常生活で できることをふやす 創作活動に取り組む 持続的な運動		やりとげる経験をつむ 様々なことに チャレンジしてみる 簡単な道具の取扱いを覚える	自分の夢を持つ どんな仕事があるか知る 体力向上	同じ姿勢での作業 様々な余暇活動 自分ができる仕事に ついて考える	健康・病気予防 グループ活動	速さ・正確さを意識して作業 卒業後の仕事や生活 得意なことを仕事につなげる	
意思決定能力	目標設定 自己選択 振り返り 自己調整							
				責任 肯定的な自己評価				
(学習内容)	好きなことを増やす 好きなことを 数種から選択する 一日の活動を振り返る		自分でできることを増やす 集中して話を聞く 活動を振り返り次につなげる	根気よく続ける 自分の考えを話す できること、できないことを知る	自己評価 他からの評価の受容	よりよい選択 修学旅行 将来を考えて今すべきこと	就労先の決定 よりよく生きて いこうとする力の育成	

☆「能力」は「ability」ではなく「competency(育成)」の視点で捉える。

参照：国立特別支援教育総合研究所(2010)

【教育部門別】

		幼稚園	小学部	中学部	高等部第1学年	高等部第2学年	高等部第3学年	高等部専攻科	
			身近な大人の仕事を 知る	進路への関心	得意なことを知る	探索・試行	進路決定		
教育部門			社会見学	校内実習	校内実習・職場実習・進路懇談				
視覚障がい	視覚代行		物に触れることに慣れる 触れたものが何である かに興味を持つ 点字に触れることに慣 れ、正しい指使いをする	点字機器を扱う ルーベや単眼鏡の使 用に慣れる。	予測読みができる 点字表記に基づいた 書き方ができる	視覚代行システムを活用することができる 生活場面で視覚補助具を使いこなすことができる		国家試験	
	環境認知・移動		音源に向かっての移動 正しい姿勢での歩行	自宅や学校周辺の環 境や道路交通の様子 がわかる 限定された範囲でル ート歩行ができる	白杖歩行技術を身に つける 公共交通機関を利用し て通学をすることが できる 地図の概念を理解し地 図的操作ができる	目的地までの単独歩行ができる ファミリーリゼーションにより単独歩行ができる			
聴覚障がい	聴覚	人工内耳、補聴器の装用になれ、正しく取り扱うことができる 自分の障がいについて理解する		人工内耳、補聴器の管理、調整を自分でできる 聴覚障がいに関する施設やサービスの利用方法を知り、活用することができる					
	コミュニケーション	あいさつなどの簡単な日常会話を理解する 手話や指文字によるコミュニケーション力をつける 相手の感情や態度がわかる 聴覚障がい者以外の人と接する機会を持つ		手話によるコミュニケーションと同時に、書記日本語(筆談やメール等)によるコミュニケーション力をつける 聴覚障がい者以外の人と接する中で、自分のコミュニケーション力を養い社会のマナーを知る					
	日本語	日本語の音、単語、短文がわかる 動詞の活用、形容詞・形容動詞について学ぶ	助詞の使い方 授受文、使役文、尊 敬語の使い方を知る	文章による表現力を 高める	手紙文、挨拶文、履歴書等に用いる文章力をつける				
病弱			自分について考え、自 分の思いを明らかにし たり、表出したりする グループ活動を通して コミュニケーションや人 とのかかわる力を培う	病気について知る 自己管理しながら運動レベル に応じた活動に取組む 自分を表現することで、自信を もって復帰できるようにする 季節に応じた活動や行動を通 して人とかかわりを深める	老人ホームなどへのボラン ティア活動を通して、仕事に 関して、関心・意欲を持つ 病気について自己管理できる 自己表現発表会で、自分の思 いをみんなの前で、発表し自 信をつける	自己の病気の状態を理解することができる 得意分野をのばし自己肯定感を高めることができる 苦手分野に取り組み不安感をやわらげることができる			
肢体不自由			外界からの刺激を受け止める 健康な身体作り(姿勢・移動・食事・排泄など)	体力 生活のリズム	自分に合った移動手段の獲得 健康の保持				
知的障がい			意思の表出(サイン等)	予定の変更を受け入 れる	自分で落ち着くことが できる	SST(ソーシャルスキルトレーニング)			

特別支援学校における段階的な就労支援(例)

資料 2

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
高1年・自己理解	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内実習 (1週間)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職業適性アセスメント</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内実習 (1週間)</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職場実習 (1週間)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">進路懇談会</div> </div>			
	働く意義を考える				企業で働く経験をする							
高2年・自己選択	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職業適性アセスメント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内実習 (1週間)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職場実習 (1週間)</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内実習 (1週間)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職場実習 (1週間)</div> </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">進路懇談会</div>			
	いろいろな職種を経験する				自分の得意な仕事を探す							
高3年・自己決定	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">進路懇談会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職業適性アセスメント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内実習 (1週間)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職場実習 (3週間)</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">職場実習 (3週間)</div> </div>				<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">進路懇談会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">移行支援会議</div> </div>			
	就職したい仕事を決める				具体的な進路を考える							

三重県立特別支援学校在籍者一覽

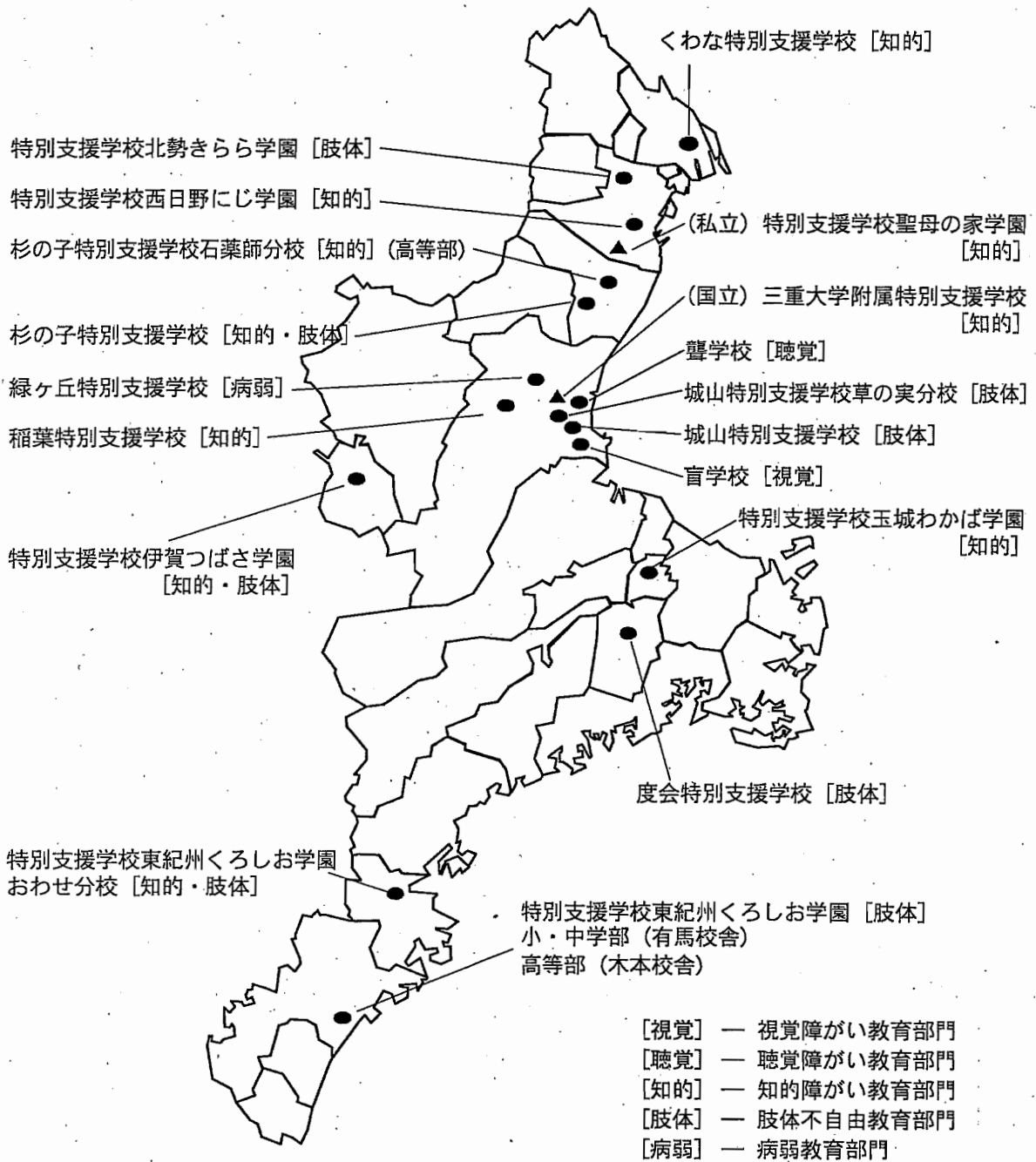
(参考資料)

教育部門	学校名	郵便番号	所在地	電話番号	幼稚部	小学部	中学部	高等部	高等部 専攻科	合計
					計	計	計	計	計	
視覚障がい	盲 学 校	514-0819	津市高茶屋4-39-1	059-234-2188	—	10	4	4	14	32
聴覚障がい	聾 学 校	514-0815	津市大字藤方2304-2	059-226-4774	20	35	21	25	4	105
知的障がい	くわな特別支援学校	511-0811	桑名市大字東方字尾弓田1073	0594-87-6061	—	34	25	73	—	132
	西日野にし学園	510-0943	四日市市西日野町字小溝野4070-35	059-322-2558	—	41	54	112	—	207
	稲葉特別支援学校	514-1252	津市稲葉町字上野4101	059-252-1221	—	28	37	78	—	143
	玉城わかば学園	519-0427	度会郡玉城町宮古726-17	0596-58-2716	—	23	53	167	—	243
	杉の子特別支援学校石薬師分校	513-0012	鈴鹿市石薬師町字寺東452	059-373-2727	—	—	—	81	—	81
肢体不自由	北勢きらら学園	512-1203	四日市市下海老町字高松161	059-327-0541	—	64	23	47	—	134
	城山特別支援学校	514-0818	津市城山1-5-29	059-234-3431	—	40	23	22	—	85
	城山特別支援学校草の実分校	514-0818	津市城山1-29-16	059-234-8281	—	9	5	7	—	21
	度会特別支援学校	516-2102	度会郡度会町大野木1825	0596-62-0001	—	17	13	18	—	48
	東紀州くろしお学園	519-4325 519-4323	熊野市有馬町530(小中学部) 熊野市木本町349-10(高等部)	0597-89-2623 0597-89-0588	—	8	8	14	—	30
知的障がい 肢体不自由	杉の子特別支援学校	513-0004	鈴鹿市加佐登3-2-2	059-379-1611	—	31	43	10	—	84
	伊賀つばさ学園	518-0616	名張市美旗町南西原229-2	0595-67-1050	—	28	37	77	—	142
	東紀州くろしお学園 おわせ分校	519-3637	尾鷲市光が丘28-61	0597-23-1531	—	5	3	19	—	27
病 弱	緑ヶ丘特別支援学校	514-0125	津市大里窪田町357	059-232-1139	—	25	9	6	—	40
県立合計					20	398	358	760	18	1554

(人)

平成26年5月1日現在

県立特別支援学校 配置図



三重県教育委員会事務局 特別支援教育課

〒515-8570 三重県津市広明町13番地
 Tel 059-224-2961 Fax 059-224-3023
<http://www.pref.mie.lg.jp/KYOIKU/HP/>
 E-mail shienkyo@pref.mie.jp